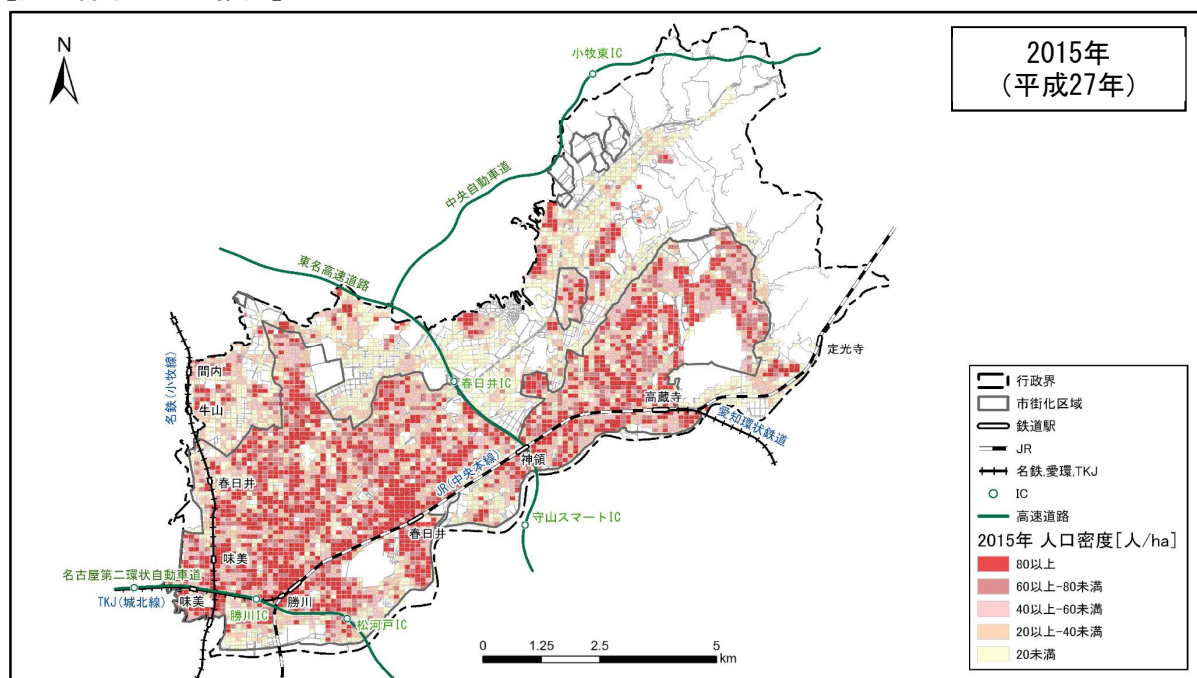


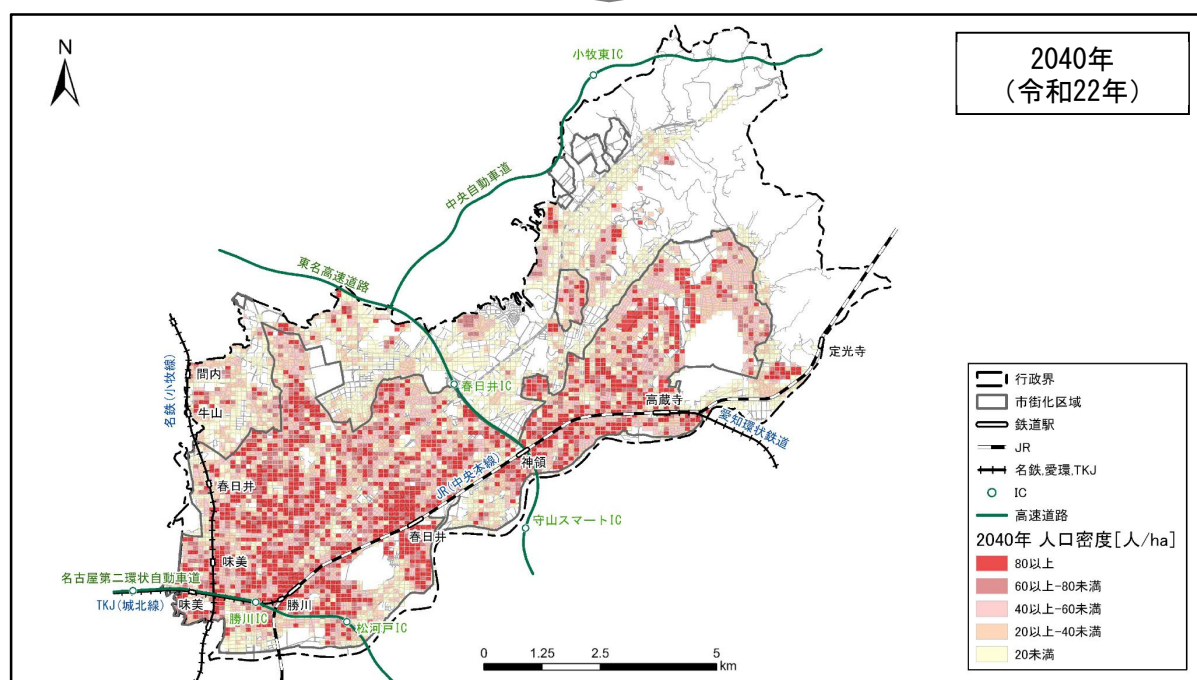
(7) 将来人口の分布

- ◆人口密度は市内で全体的に低下する見込みとなっていますが、2040年（令和27年）時点の将来推計では、市街化区域の広範囲で人口密度がDIDの目安となる40人/haを上回ると見込まれています。
- ◆2015年（平成27年）から2040年（令和22年）の人口分布の増減率では、市街化調整区域や高蔵寺ニュータウン周辺の地域では-20%未満の人口減少、市街化区域の広範囲で-20%以上の減少が見込まれています。一方で、神領駅周辺や松河戸地区計画区域周辺、玉野台地域周辺等で人口の増加が見込まれています。ただし、この推計は人口増減の実績に基づいているため、特に人口増加に関しては宅地開発等の影響が大きいと考えられることに注意が必要です。

【図 将来人口の推計】

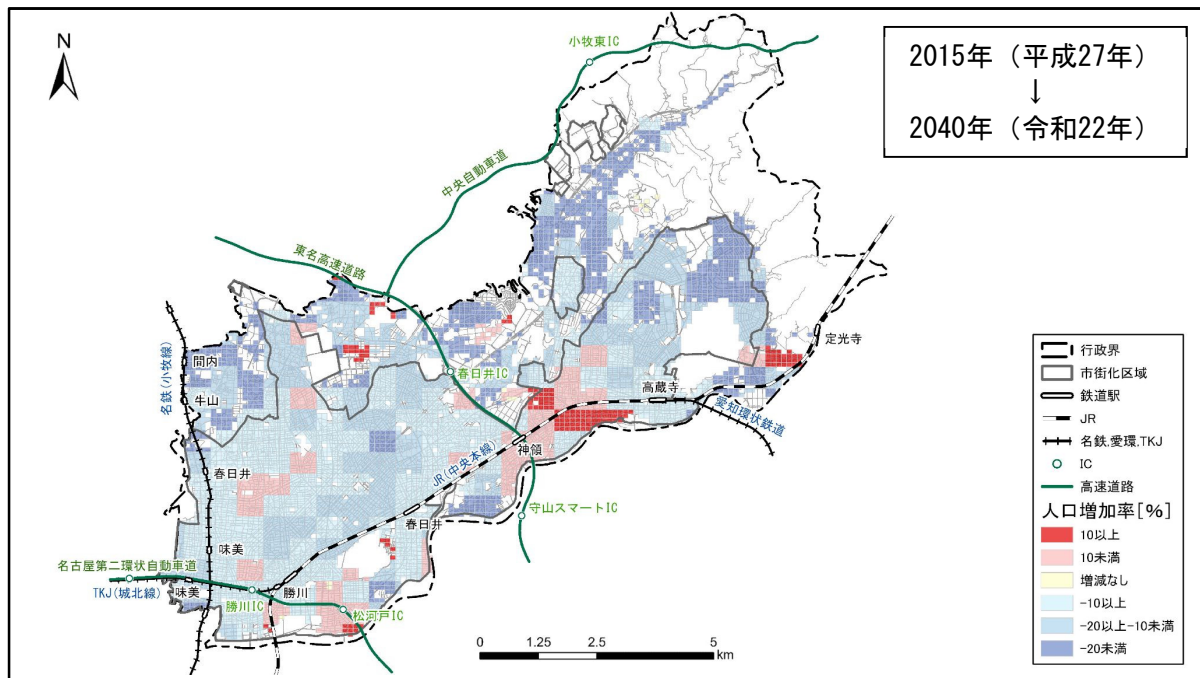


資料：2015年（平成27年）国勢調査



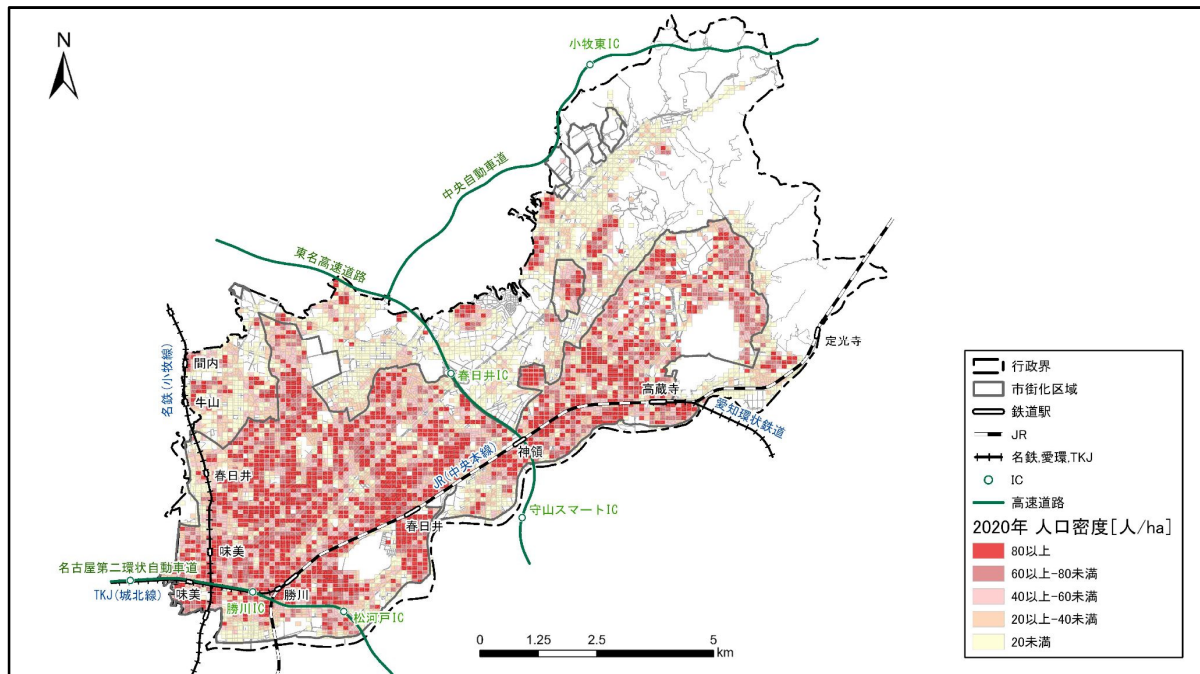
資料：社人研 将来推計人口（2015年（平成27年）国勢調査に基づく）

【図 将来人口の推計（増減率）】



資料：社人研 将来推計人口（2015年（平成27年）国勢調査に基づく）

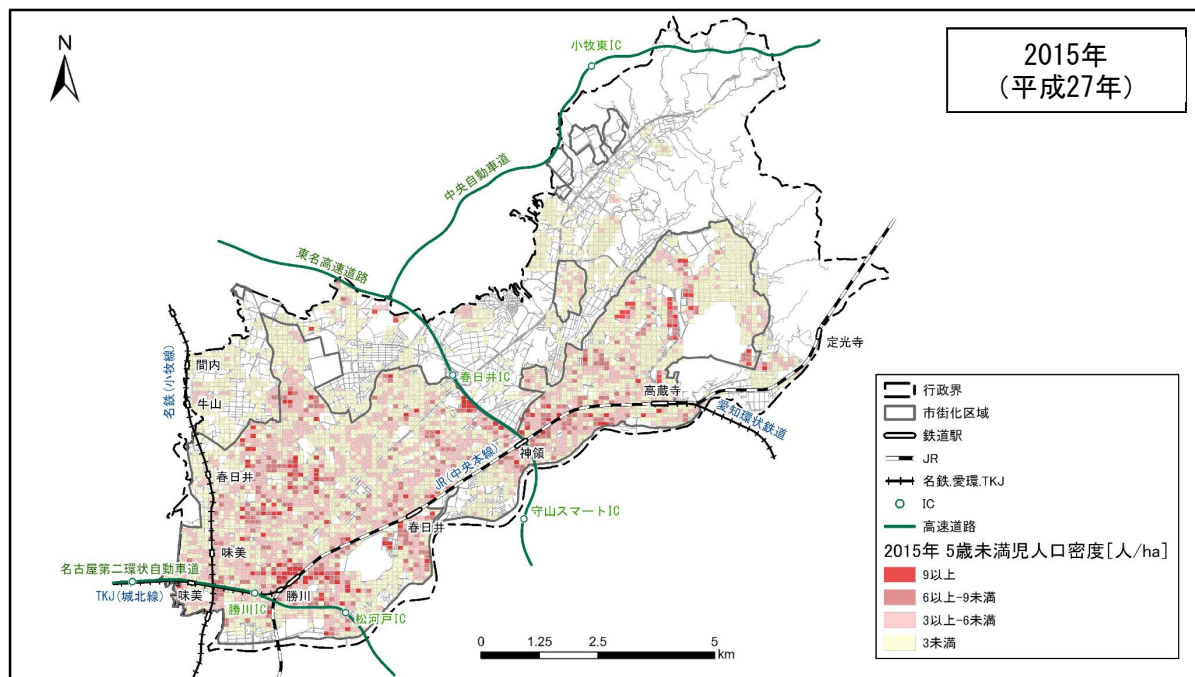
【図 2020年人口】



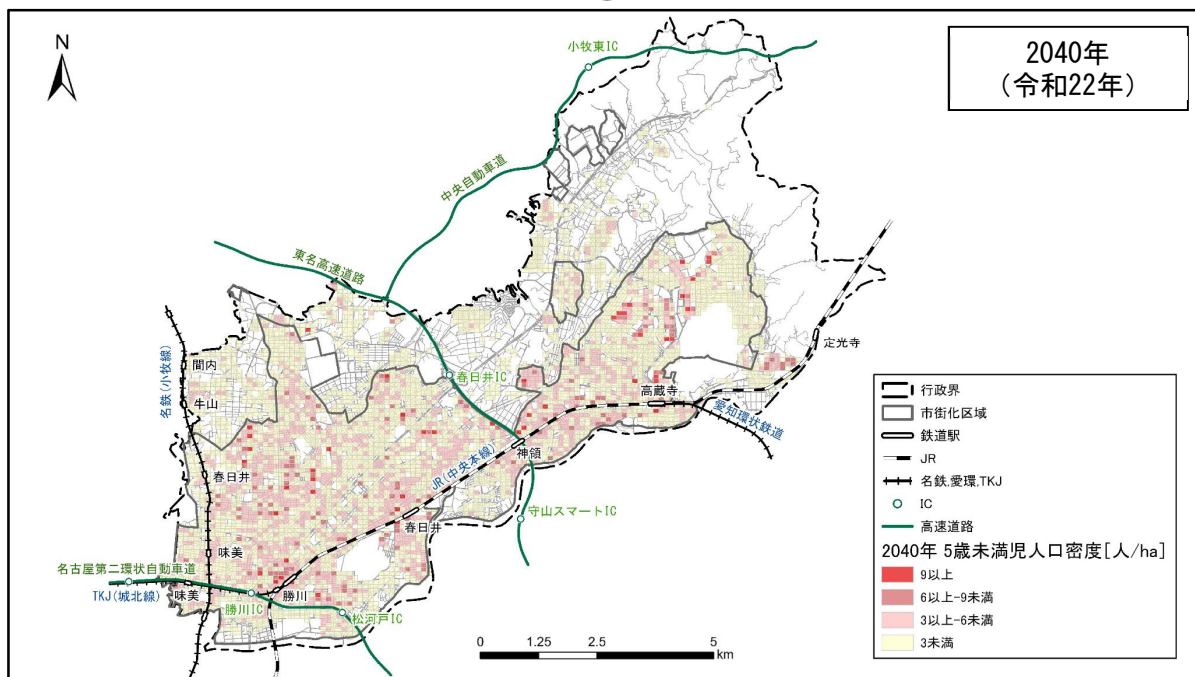
資料：2020年（令和2年）国勢調査、2020年（令和2年）住民基本台帳

- ◆ 5歳未満児人口の分布は市街化区域に多く分布している傾向にあり、2040年（令和22年）においても同様の傾向となっています。また、2015年（平成27年）から2040年（令和22年）の人口分布の増減率では、市街化区域や市街化区域の周辺では減少すると見込まれている一方、春日井IC東部をはじめとした市街化調整区域の一部での増加が見込まれています。

【図 5歳未満児人口の推計】

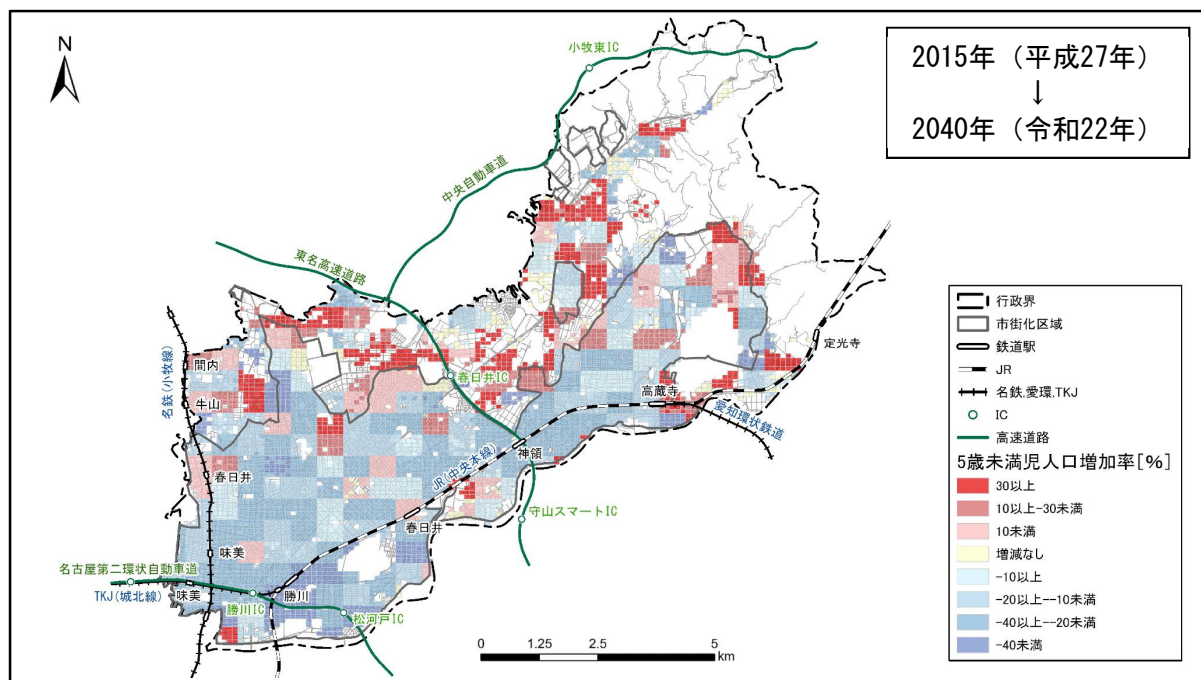


資料：2015年（平成27年）国勢調査



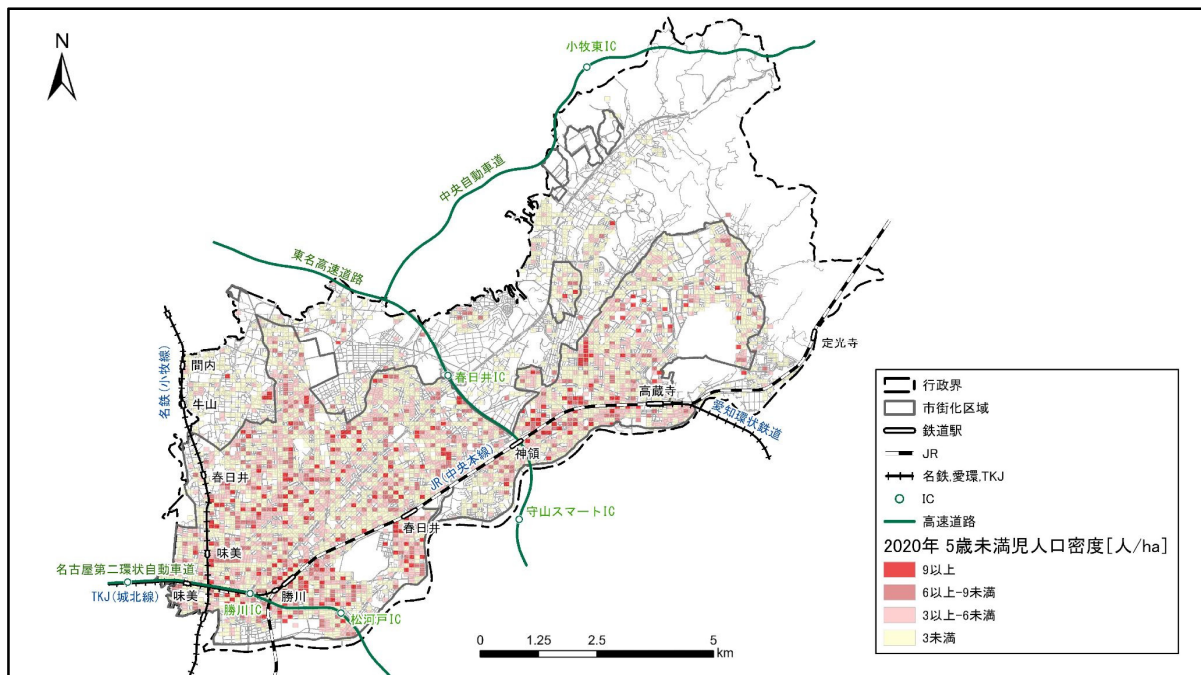
資料：社人研 将来推計人口（2015年（平成27年）国勢調査に基づく）

【図 5歳未満児人口の推計（増減率）】



資料：社人研 将来推計人口（2015年（平成27年）国勢調査に基づく）

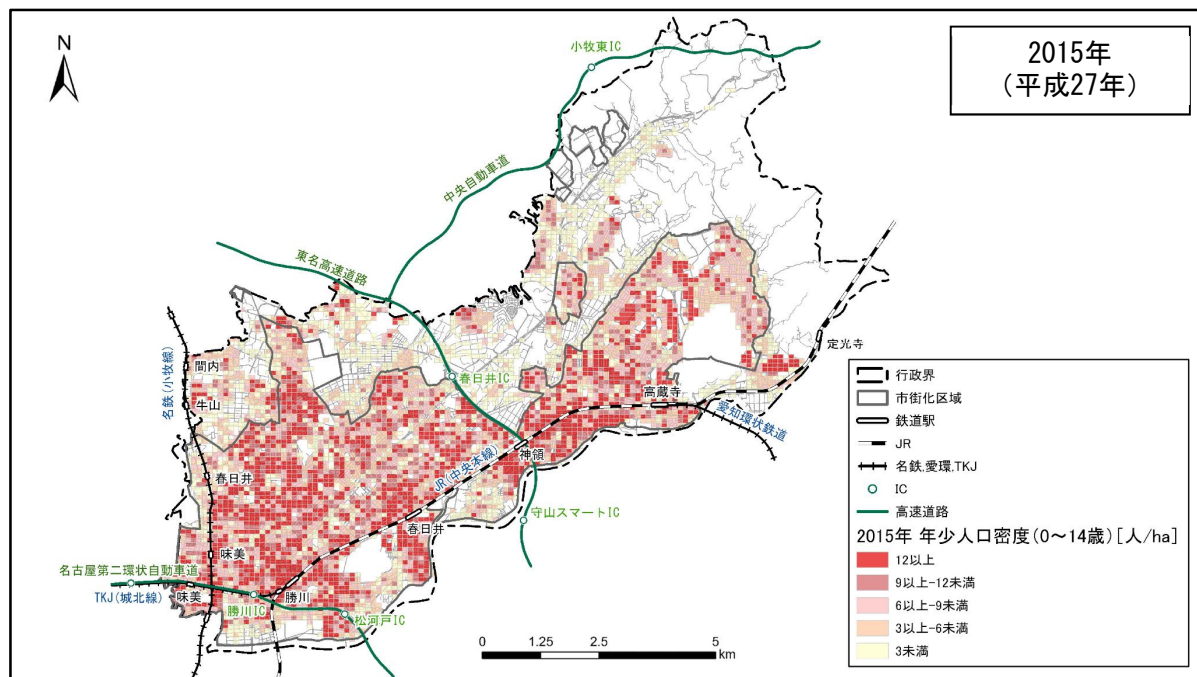
【図 2020年人口】



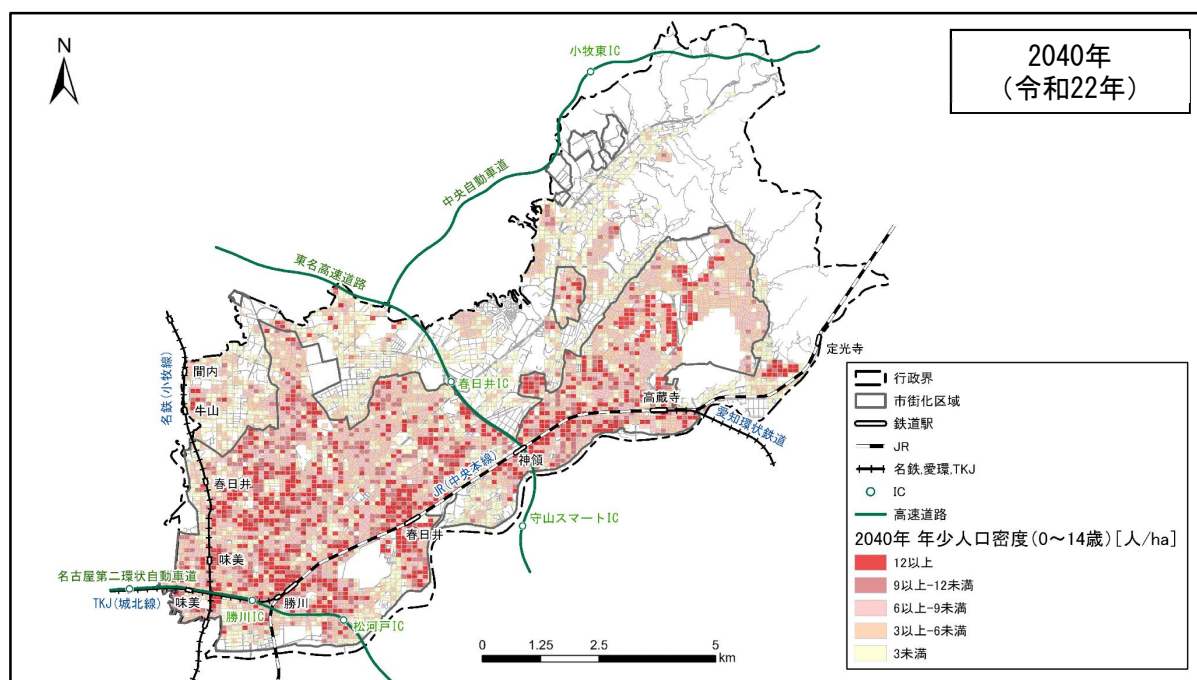
資料：2020年（令和2年）国勢調査、2020年（令和2年）住民基本台帳

◆年少人口の分布は市街化区域に多く分布している傾向にあり、2040年（令和22年）においても同様の傾向となっています。また、2015年（平成27年）から2040年（令和22年）の人口分布の増減率では、市街化区域や市街化区域の周辺では減少すると見込まれている一方、市街化調整区域の一部での増加が見込まれています。

【図 年少人口（0～14歳）の推計】

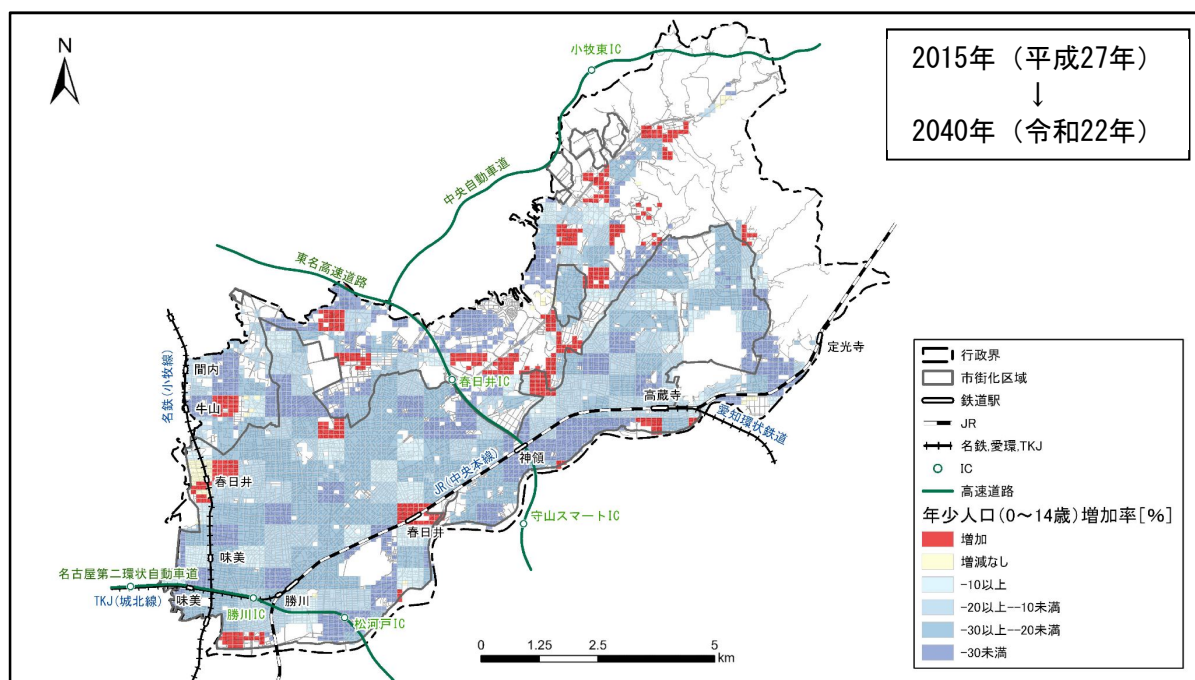


資料：2015年（平成27年）国勢調査



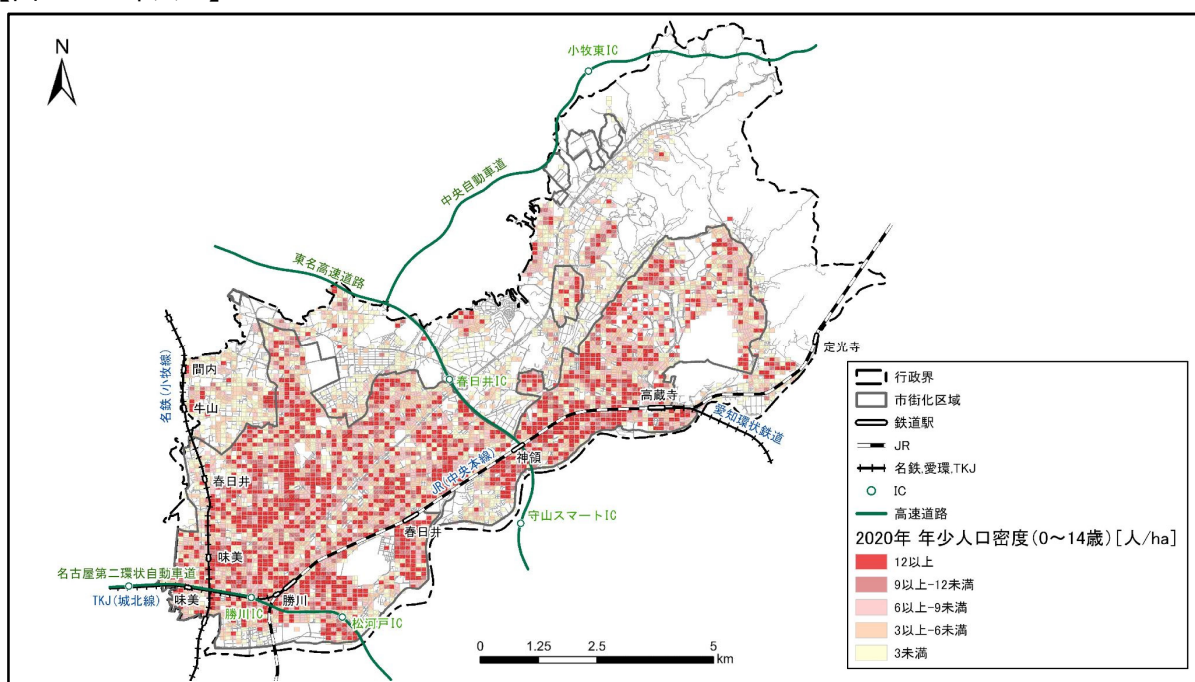
資料：社人研 将来推計人口（2015年（平成27年）国勢調査に基づく）

【図 年少人口（0～14歳）の推計（増減率）】



資料：社人研 将来推計人口（2015年（平成27年）国勢調査に基づく）

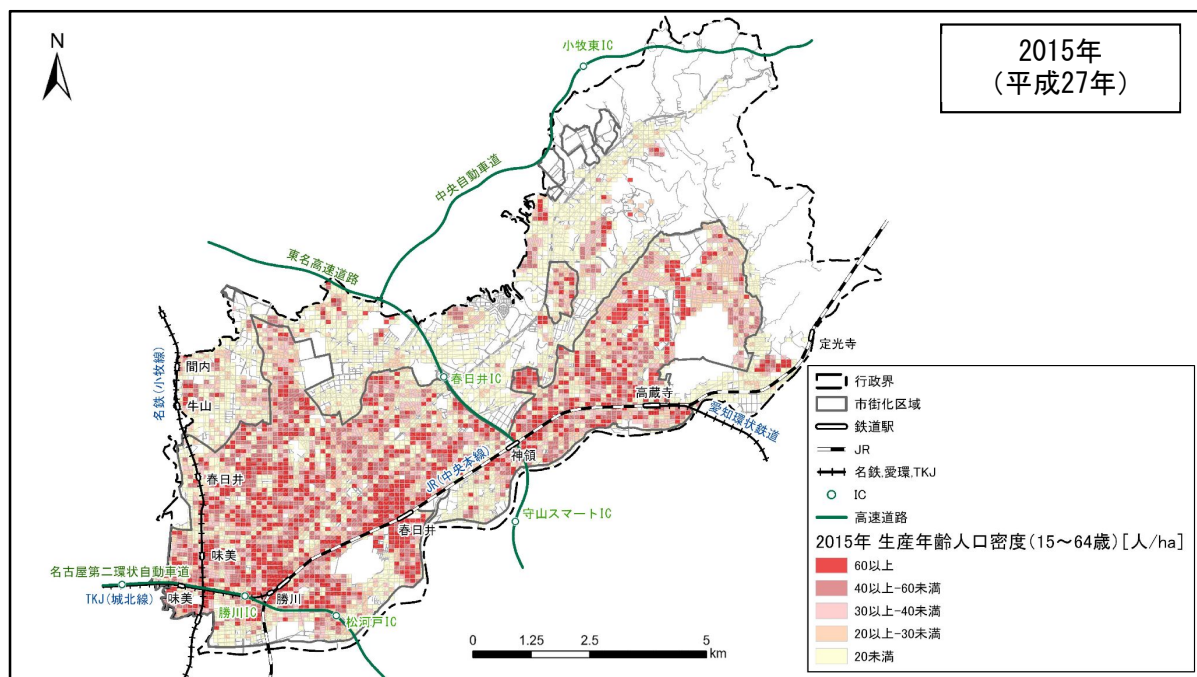
【図 2020年人口】



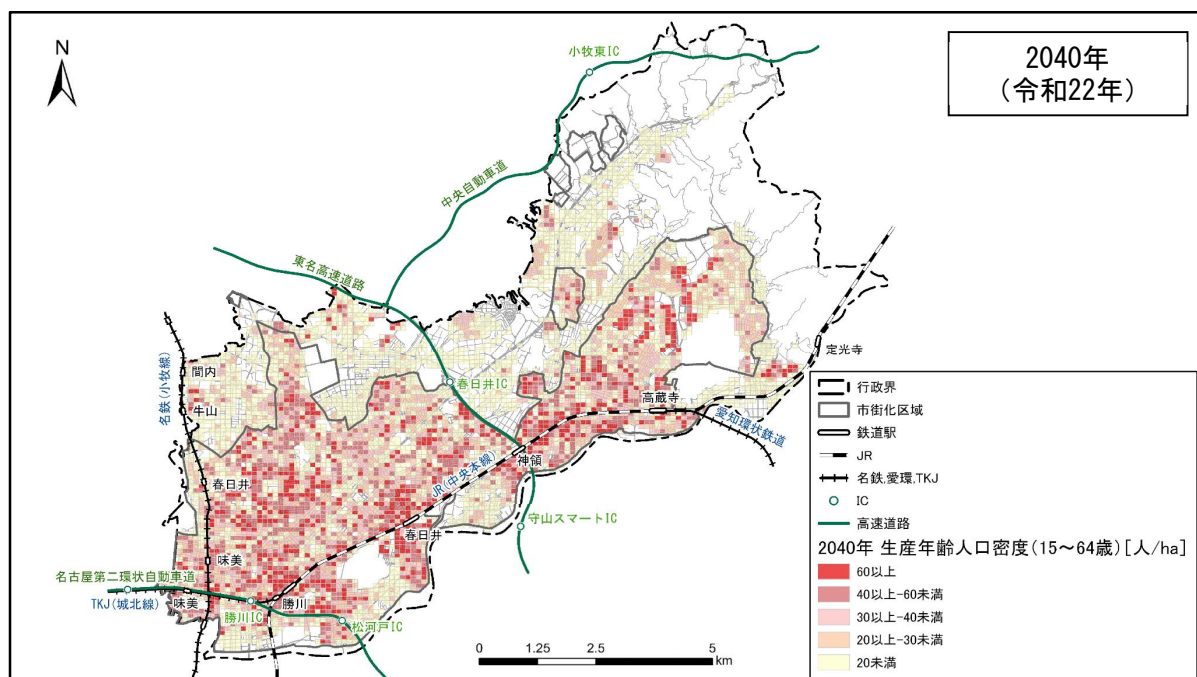
資料：2020年（令和2年）国勢調査、2020年（令和2年）住民基本台帳

◆生産年齢人口の分布は市街化区域に多く分布している傾向にあり、2040年（令和22年）においても同様の傾向となっています。また、2015年（平成27年）から2040年（令和22年）の人口分布の増減率では、松河戸地区計画区域や春日井IC周辺において局所的に増加が見込まれている地域があるものの、多くの範囲で減少が見込まれています。

【図 生産年齢人口（15～64歳）の推計】

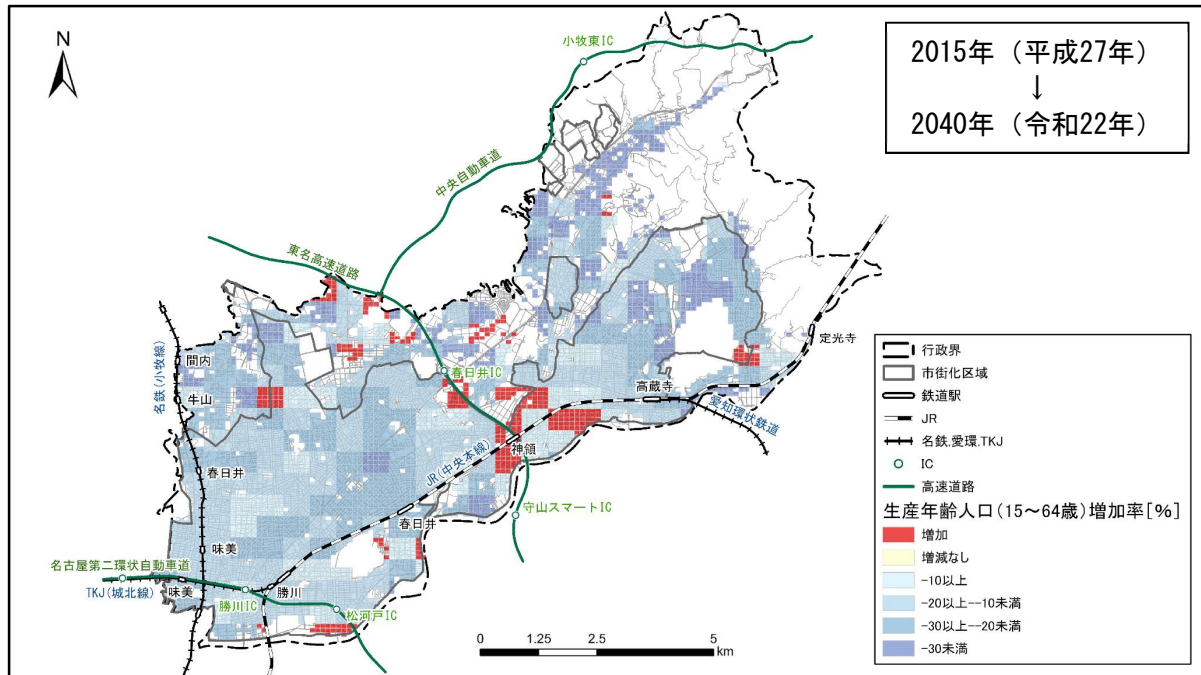


資料：2015年（平成27年）国勢調査



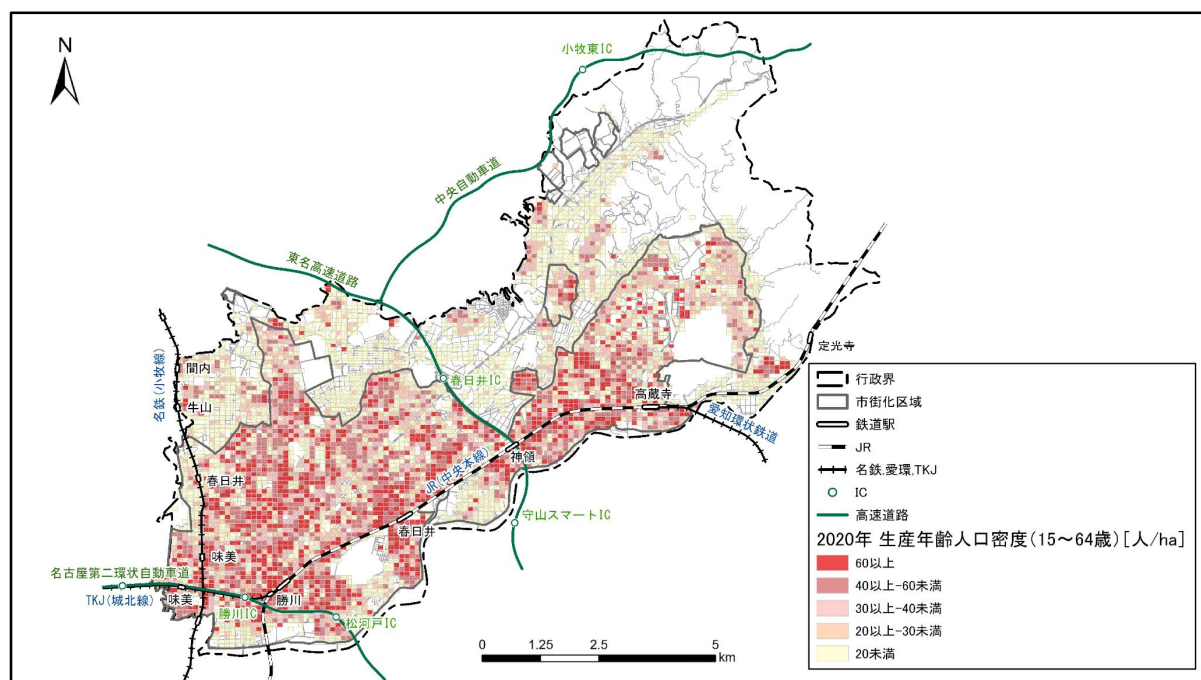
資料：社人研 将来推計人口（2015年（平成27年）国勢調査に基づく）

【図 生産年齢人口（15～64歳）の推計（増減率）】



資料：社人研 将来推計人口（2015年（平成27年）国勢調査に基づく）

【図 2020年人口】



資料：2020年（令和2年）国勢調査、2020年（令和2年）住民基本台帳